

どい 土肥こうすけ後援会ニュース

発行:土肥こうすけ後援会 発行責任者:出原 逸三 編集責任者:三田 哲治
〒525-0044 草津市岡本町1000番地2(ダイキン工業労働組合滋賀支部内) TEL:077-564-1153



～ごあいさつ～

一期目の集大成として、残りの任期を全力でがんばります！



寒さ厳しき折、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平成最後の新春を迎え、現在、2期目への挑戦に向けて準備を進めています。日頃より皆様から温かいご支援を頂いていることへの感謝の気持ちを持ちながら、市民の代表としての役割を全うするべく、残りの任期も全力で安心安全のまちづくりを進めて参ります。引き続きのご指導とご支援を賜りますよう、本年も宜しくお願い申し上げます。

■ 11月定例会概要



質問する土肥こうすけ議員

「子ども家庭部」から「子ども未来部」に部署名変更し、青少年の健全育成強化を図る(平成31年4月1日施行)

平成30年11月26日～12月17日の日程で、市議会の11月定例会が開催されました。補正予算8件、条例改正8件をふくむ38議案が上程され、全議案が全員賛成で可決いたしました。

このうち、少年センターの運営など、青少年の健全育成に関する事務が新たに追加されることに伴い、「子ども家庭部」を「子ども未来部」に名称変更する条例改正案が示されました。

子ども家庭部が少年センターの運営を担うねらいとしては、幼児虐待や引きこもり、非行など、草津市で問題となっている状況を、幼児期から少年期まで一貫して把握し、改善を図ることです。

一方で、これまで少年センターの運営を担ってきた教育委員会との連携が薄れてしまう懸念があることから、「組織変更後も、これまで以上に情報共有をはじめとした様々な形で連携を図ること」を強く要請し、今回の条例改正案に賛成いたしました。

新たな名称に見合った役割を果たすよう、引き続き行政の事業を注視し、市民の皆様のお声を反映してまいります。

市政に取り組む中で見えてきた課題を、「山本正」氏を通じて、県政にも届けます

■ 県議会議員選挙 三期目の挑戦 山本正 氏

2019年3月29日告示、4月7日投開票の県議会議員選挙に、現職の山本正氏が、連合滋賀および国民民主党の推薦を受けて立候補する予定となりました。

山本正氏は、市議会議員時代をふくめて15年間、草津市や滋賀県の発展のため、そして、誰もが安心して暮らせる環境を整えるべく尽力してこられました。

私としても、さらに市と県の連携を深め、ともに安心安全の地域づくりを進めるため、今後もお活躍頂きたいと考えております。皆様の温かいご支援を賜りますよう、宜しくお願いたします。



地域別座談会をふりかえって


草津市内各地にお住いの皆様から頂くお声をもとに「住んでいるからこそ感じる地域の課題」や「年代ごとで異なる行政に求めること」を把握し、課題解決や行政への提案に繋げるため、2016年12月から「地域別座談会」を始めました。おかげさまで、2018年中に草津市内すべての学区で座談会を開催することができ、市政や私の活動に対して幅広いご意見やご要望を伺うことができました。

皆様から頂いたご要望につきましては、解決出来たことや、今なお継続取組み中のこともあります。皆様が安心して安全に暮らせる地域づくりの実現に向けて、引き続き課題解決や現状からの改善を図ってまいります。以下、これまでの地域座談会で頂いた多くのご意見を抜粋してご紹介いたしますので、ご覧ください。

【笠縫学区：笠縫団地集会所】

まめバスや路線バスを利用したいが、バス停に行くまでの道のりが長くて疲れる。近くにバス停を増やすことはできないか。

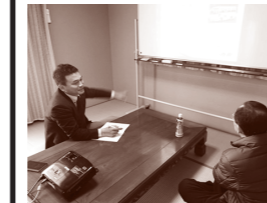
※バス停を増やすことが出来ませんでした。市内のバス停に自転車置き場を整備する計画をしています。



【常盤学区：芦浦ホーパタウン集会所】

いつか車を運転することが出来なくなった場合でも、家にこもりきりにならず、四季を感じたり人と接する機会を持ちたい。


まめバスの本数を増やすか、まめバスに代わる新たな交通システムを構築していただきたい。



【笠縫東学区：野村会館】

『de愛ひろば』には、若者向けの施設が立ち並んでおり、小さなお子さん連れのお母さん等で賑わっているように見える。


広い世代に愛される公園になるよう、もっと高齢者が行きたくくなるような仕掛けや環境整備をしてもらいたい。



【山田学区：南山田会館】


農地転用で資材置き場になった土地があるが、土砂やガレキばかりが積み上げられている。景観を損ね、土壌汚染も心配。

※草津市ごみ減量推進課（当時）の対応を求め、地権者との協議の末、無事に解決いたしました。




【渋川学区：渋川まちづくりセンター】

草津市は、とても暮らしやすくていいまちだと感じている。ただ、就学前の子どもを連れてたくさん遊ばせることの出来る公園が周辺にあまりないので、今後、そうした空間づくりを中心市街地にも実現してください。




【老上西学区：矢橋町会館】

地元の神社に、集団で巣を作っていたサギを鷹で追い払うために、予算要望し実現してくれてありがたかった。他にもマンションのベランダに入り込んでくるハトやカラスにも困っているので、対応願いたい。



【草津学区：西一住宅集会所】


草津川跡地を公園にしたのはいいが、乳幼児を連れてお母さんや高齢者の方々が散歩をすることを考えれば、夏場に日陰となる樹木や十分な遊具が整っていない。幅広い世代が安心して楽しく過ごせる環境づくりに努めてもらいたい。



【老上学区：老上まちづくりセンター】


南草津の南田山交差点から西に入る道路が狭くて危険。接触事故等を未然に防ぐため、拡幅してもらいたい。

※2019年より、道路の拡幅工事を始めることとなりました。




【大略学区：新屋敷第二公民館】

地域に設置された公設スピーカーから流れる防災行政放送が全く聞こえない。地震や台風・豪雨など、いち早く避難する上で必要なのは素早い情報提供。跡地区間6の整備に合わせて、国道以東の地域にもしっかり聞こえるスピーカーを設置してもらいたい。




【玉川学区：玉川まちづくりセンター】

草津市は立地適正化計画で居住誘導区域を設定し、コンパクトシティを作っていくことを構想しているとのこと。効率的で利便性が高まるのはいいが、たとえば子どもがボール遊びができるような、ゆとりのある空間も十分に設けていただきたい。



【志津学区：志津まちづくりセンター】

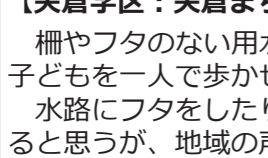
高齢化が進み、公共交通網がまだまだ不十分な草津にあっては、アメリカや中国などで利用されている配車アプリ（Uberなど）を活用してはどうかと考えるが、法的な問題がクリアできないのであれば、柔軟な発想で交通空白地を無くして欲しい。



【矢倉学区：矢倉まちづくりセンター】

柵やフタのない用水路については、小さな子どもが転落するリスクがあるため、子どもを一人で歩かせることをためらってしまう。

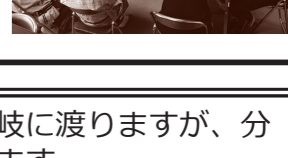
水路にフタをしたり柵を設けることについては、箇所によっては賛否が分かれると思うが、地域の声を集約し、安全な地域づくりを願いたい。



【志津南学区：志津南まちづくりセンター】


高齢者のみの世帯が増え、町内におけるまちづくりの担い手が不足している中、町内会とは別に「まちづくり協議会」が組織されたことで、ますます町内役員への負担が増え、疲弊している。

高齢化が進む中で、若い世代が参画しやすい仕掛けを考えてもらいたい。



【南笠縫学区：南笠縫まちづくりセンター】

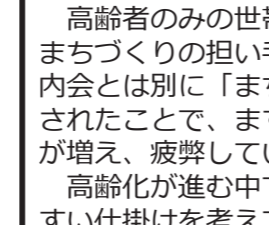
草津市公共交通網形成計画を策定中とのこと。そこにはまめバスも交通網に含まれていると思うが、現在のまめバスの本数や運行方法だけでは地域の足としては不十分なので、もっと利用者の声を反映した形で運行してもらいたい。



【志津南学区：志津南まちづくりセンター】

高齢者のみの世帯が増え、町内におけるまちづくりの担い手が不足している中、町内会とは別に「まちづくり協議会」が組織されたことで、ますます町内役員への負担が増え、疲弊している。

高齢化が進む中で、若い世代が参画しやすい仕掛けを考えてもらいたい。



今までの座談会で、市内各地にお住いの皆様から頂いたお声は多岐に渡りますが、分類・整理するとおおむね下記5つの声に集約できると受け止めています。

5つの声

1. 公共交通の充実および交通利便性の向上
2. 子育て環境のさらなる整備
3. 「de愛ひろば」を含めた草津川跡地の活用
4. 高齢者や、支える家族が安心して暮らせる地域づくり
5. 景観をまもり、自然環境と共生できる地域づくり

今後、この5つの声を軸として行政と対峙してまいりたいと考えていますが、これからも、座談会をはじめとした対話活動を通じて、皆様から幅広くご意見を承りたいと考えています。引き続き、活動へのご理解とご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

会派からの次年度予算要望に対して、行政より回答ができました

年に一度、私が所属している「市民派クラブ」は、行政に対して予算要望を提出しております。予算要望とは、子育て、教育、交通、介護など、あらゆる分野について、事業の効率運営や充実を求めるもので、およそ65項目に及びます。

紙面都合上、すべてを掲載することは出来ませんが、子育てや介護など、働きやすい地域環境づくりに関わる一部をご報告いたしますので、ご覧ください。

■介護施設整備について

【会派からの要望】

社会問題となっている「老老介護」や「介護離職」問題を緩和・解消するための施設整備をさらに充実させて欲しい。

【行政の回答】

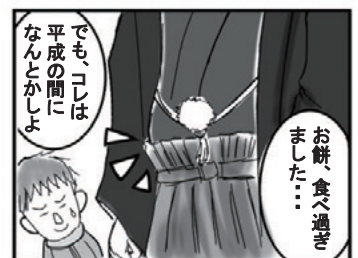
介護施設の整備については、草津あんしんいきいきプラン第7期計画の中に位置づけ、来年度は特別養護老人ホームの整備を行います。



草津4コママンガ

第9回 「新たな気持ちで」

作：TKG推し



■待機児童の解消にむけた、保育士の処遇改善などについて

【会派からの要望】

市内保育園の待機児童対策をお願いしたい。保育士の賃金が業務負担に見合わないことが再就職、人材確保の妨げになっているため、具体的な支援策を講じるとともに、児童育成クラブ職員の処遇改善にも努めていただきたい。

【行政の回答】

当初の計画を上回る保育需要があることが明らかになりました。

不足分を充足するため、新たな民間保育所の整備等を行います。

保育士の処遇改善につきましては、「草津保育士等処遇改善費補助金」により、本市独自の支援を引き続き実施いたします。

公設民営児童育成クラブ職員の処遇改善については、指定管理料の人件費引き上げを実施。民設民営については、公設民営と同水準となるよう、運営基準額および補助金額の引き上げを検討しております。



■公園の環境整備について

【会派からの要望】

市内にある公園に、健康器具の設置や、ボール遊びができる環境整備をさらにすすめて欲しい。

【行政の回答】

公園の再整備にあたり、地元町内会等のご希望があれば、必要に応じて健康器具等の設置や、ボール遊びができる公園の整備を検討してまいります。



今回は、介護や子育て環境についての要望をご紹介いたしました。他にも「中小企業支援」や「道路整備」、「防犯・防災」と様々な分野について、前向きな回答を得ております。

いずれの要望についても、**日頃、市民の皆様との対話を通じて得られた項目ばかり**です。これからも、年に1度の予算要望だけでなく、様々な場面で皆様のご意見を市政に反映してまいりますので、引き続き、私の政治活動へのご理解とご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

市政へのご意見、ご質問は 土肥こうすけ後援会 まで

〒525-0044 草津市岡本町1000番地2 (ダイキン工業労働組合滋賀支部内)

TEL:077-564-1153

FAX:077-565-9840